Elk、リアルタイムでリモート音楽作成とパフォーマンスを実現する新サービス Aloha を発表

さまざまな場所から同時にライブ演奏、指導、コラボレートを可能にする Aloha は、高速インターネットと 5G 以上のネットワーク上で実行され、現代の音楽作成とパフォーマンスを新たな未来へと導きます。

2020年8月17日 - スウェーデン、ストックホルム - 世界最速で数々の賞を受賞した Elk Audio Operating System (OS) の開発企業 Elk (エルク) 社は、リアルタイムのリモート音楽制作と演奏を可能にする新サービス、Aloha (アロハ)を発表しました。 Aloha はバーチャルな共有スタジオ、リハーサル室、ステージ、教室などを作成するとともに、ソーシャル・プラットフォームを介してオーディエンスにパフォーマンスをストリーミングするオプションも提供します。異なる場所にいるミュージシャン、プロデューサー、教育者が、まるで同じ部屋にいるかのように創作、リハーサル、演奏を行うことができます。 Aloha の超低遅延サービスは高速インターネットと 5G ネットワーク上で提供され、ユーザーはシンクして共同作業やライブでの演奏を行うことができます。

今すぐ見る: Aloha の紹介

「テレビ会議サービスへの劇的なシフトは、世界中の友人、家族、同僚をつなぎ、共同作業を続けるのに役立ってきました。しかし、これらのプラットフォームは、音楽業界、特にミュージシャン、プロデューサー、教師など、音楽を基本的なレベルで一緒に作って演奏したいという人たちのために設計されたものではありませんでした。」と Elk Audio の創設者兼 CEO であるミッシェル・ ベニンカソ氏は述べています。「Aloha では、ライブでの交流をデジタル化することで、あらゆるミュージシャンと楽器をどこからでもつなげることを目指しています。ミュージシャンが待ち望んでいた遠隔地での制作や演奏体験を実現することができるのです。」また、「Aloha は、音楽の世界を 5G の可能性が秘めるデジタルシフトの中に引き込む、創造的な接続ポイントです」と、サービスのビジョンを要約しています。

インターネットを介してコラボレーション、リハーサル、教育、演奏を行うためには、ミュージシャン、プロデューサー、教育者はリアルタイムで安定したオーディオを必要とします。現在利用可能なビデオ会議サービスの遅延は不規則で(「ジッタ」と呼ばれています)、半秒以上に達することがあります。そのため、音楽家が一緒に演奏するには不向きな環境となっています。Aloha は、オーディオのジッタを数ミリ秒程度に抑え、異なる場所からの接続を可能にし、没入感のあるクリエイティブなライブインタラクション体験を実現しました。

「様々なバンドで多くのプロジェクトに携わっている私にとって、Aloha のおかげで自宅にいながらにして、曲のリハーサルからグルーヴ、即興演奏まで、他のミュージシャンとのコラボレーションを続けることができます。最近では、ヤマハがスポンサーした演奏を、音楽仲間のニルス・ランドグレンと 670 km離れた場所から演奏しました。リアルタイムで演奏できるだけでなく、旅費やスタジオ代も節約できました。Aloha なしでは不可能なことです。」ーロベルト・メフメット・イキズ、独立ドラマー、ヤマハアーティスト。

Aloha のポケットサイズのデバイスとアプリは、Elk Audio OS の超高速なパフォーマンスとパワフルなオーディオ・プロセッサーを組み合わせ、ユーザーの皆様にフルクオリティのオーディオ体験をお届けします。ミュージシャンのためにデザインされた Aloha アプリは、スマートフォン、タブレット、コンピュータ上で操作でき、個別のモニタリングコントロール、エフェクト、レコーディングツールなどの不可欠な機能に加え、慣れ親しんだビデオチャットや人気のソーシャルチャンネルでのストリーミングオプションが搭載されています。超低遅延のハードウェア・デバイスは、どんなギグ・バッグにも収まるほどの小型サイズです。

Aloha 5G - 新しい音楽体験

進化する 5G エコシステムの中で高速インターネットに最適化された Aloha をテストするために、Elk のチームは通信事業者や 5G のパイオニアと協力しており、ミュージシャンや音楽業界に新たな可能性をもたらしています。

ボーダフォン・グループのグループ・ネットワーク・アーキテクチャー責任者であるサンティアゴ・テノリオ氏は次のようにコメントしています。「予測不可能なロックダウンの世界で、アーティストがより多くの音楽を制作し、テクノロジーを使ってファンとのつながりを維持していることは素晴らしいことです。当社の高反応で低遅延の高速ファイバーと5Gネットワークと、Alohaのようなサービスを組み合わせることで、このような交流を次のレベルへと高めていきます。ミュージシャンはもちろん、ファンでさえも、世界のさまざまな場所から瞬時にコラボレーションすることができるようになります。これは、音楽業界をはじめとする様々な分野に、新たな創造性と多様性の波を呼び起こすことになるでしょう。現在の困難にもかかわらず、エキサイティングな時代です。」

Elk は、2019年の Mobile World Congress の展示会で Ericsson、Vodafone とともに Aloha 5G 技術のコンセプトを初めて披露した後、<u>スペインでの Vodafone</u> とのライブコンサートをはじめとする様々なイベントで世界を駆け巡りました。

ベニンカソ氏は5Gがもたらす可能性について、「高速ブロードバンドを利用したAlohaは、音楽家や教育者、アーティストとのコラボレーションに最適な体験を提供します。5Gの現実を目前に控え、アロハはエッジコンピューティングの力を利用して、

ゲーム、拡張機能、バーチャルリアリティを含むエンターテイメントの中で全く新しい オーディオ体験を提供し、完全なポータビリティを発揮するでしょう。」と述べていま す。

Aloha by Elk オープンベータ

ELK は 2020 年第 4 四半期に限定 Aloha オープンベータプログラムを開始する予定です。 詳細は alohabyelk. com をご覧ください。

Elk について

Elk はストックホルムを拠点とする企業で、新世代の接続楽器やオーディオ機器を可能にするテクノロジーを開発しています。Elk の野望は、ミュージシャンとテクノロジーの間のギャップを埋める新しい方法を創造し、音楽を学ぶ、作成する、録音する、共有する方法を変えることです。

Alohaは、離れた場所から音楽を一緒にライブで演奏できる画期的な新サービスです。

プレス連絡先 アレクシス・アイザックス ザジルメディアグループ (eメール) alexis@zazilmediagroup.com